

幸せを取り戻していくお話です。

4、ぴんときた(詩)

雨の振ってくれるのを待っている、かえ
るさんの詩です。かえるの鳴き声を詩にい
れて、うれしさを表現しています。

5、あめ玉(新見南吉)

渡し舟に二人の小さな子どもをつれた女
の旅人と、侍が一人。二人の子どもから「か
あちゃん、飴玉ちょうだい。」と手をさし
だした。お母さんは紙の袋を取り出したが、
飴玉は一つ。困っていると居眠りをしてい
た侍が、飴玉を舟のへりにのせ、刀でぱち
んと二つに割った。そして、二人の子ども
にわけてやりました。その後、侍はまた眠
りはじめた。

6、花さき山(斎藤隆介)

祭りのごちそうにする山菜を採りに、春
の山へ分け入ったあやに、やまんばが語っ
て聞かせた、花さき山に花の咲くわけは「こ
の花は、ふもとの村の人間が、やさしいこ
とをひとつすると、ひとつさく」あやの足

元に咲く赤い花は、昨日あやが咲かせた花
だとのこと。あやは山から下りて、村人に
この話したが本気にされなかった。がとき

どき、花を咲かせ山を盛り上げている力に
気づく。生きる大切さを伝えるお話。

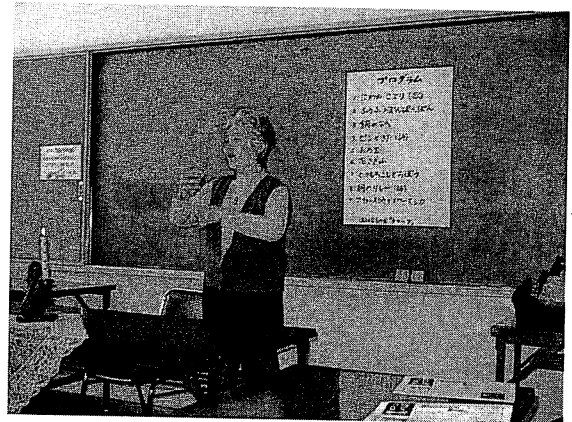
7、とうもろこしどろぼう(メキシコ)

昔々、メキシコのある村にお金持のお百
姓がいた。広いトウモロコシ畑を持ってい
た。ある年、その畑にドロボウがはいった。
お百姓は、三人の息子をよんで、トウモロ
コシドロボウを見つけだすようにいう。三
人の息子の誰が見つけ出すかというお話で
す。

8、あさのリレー(詩) 谷川俊太郎

カムチャツカの若者がきりんの夢を見て
いるとき、メキシコの娘は朝もやの中でバ
スを待っている。ニューヨークの少女が微
笑みながら寝がえりをうつとき、ローマの
少年は：

いつもどこかで朝がはじまっているぼくら
は朝をリレーするのだ。経度から経度へと
…どこか遠くで目覚時計のベルが鳴ってる



それはあなたの送った朝を誰かがしつかりと受けとめた証拠なのだ。

9、アリユーヌシカとイワーヌシカ(ロシア)

みなしこの二人が旅に出て、弟のイワーヌシカは、水を飲みやぎになる。その後、姉のアリユーヌシカが商人と結婚する。仔

やぎの弟と一緒に住むが、突然、魔女が来て、姉を捕まえ、姉になります。その後、姉弟が平和な生活を取り戻すまでのお話です。

歌と詩などのお話をお聴きした後、参加者の意見や感想を聴きました。「いろんな話が聞けて楽しかった。」「気持ちが落着

いた」など。

お話の後、ナットウの歌体操を教えてください。詩やお話をすべて覚えておられ、豊かな表現に聴き入ったサロン・あべの3月の出会いでした。(参加者23名 山村貴司)

美智子のこんな話

岸田美智子

岸田企画でおでかけしました!!

3月の最後の土曜日、東住吉区にある生活介護型事業所「もくれん」のデイサービスに行ってきました。

私は、ヘルパー時間数が毎月足りないのです、デイサービスを祭日と土曜日に利用してヘルパー時間の足りない部分を調整しています。土曜日

や祭日にデイサービスをやっているところはほとんどないので助かっています。毎月私の場合、2〜3回しかデイサービスを利用しないのでなかなか私にあつた活動プログラムに参加できません。おまけに1ヶ月に2〜3日しかこない私のために、プログラムを考えるのはかなり難しいと思います。でも個人企画のプログラムがあり、利用者は個人でプログラムを企画することが「もくれん」ではできます。私は最近、パソコンを購入するかどうか迷っているのですが、重度障害者向けのパソコンもいろいろおいている、ITステーションに行つてゆっくり相談したいと前から思っていました。

なので、このITステーションにいく外出企画にしてみました。当日は、私の他にも女性障害者の方が2名参加されていました。女性3名ということもあり、遠足気分を楽しんできました。送迎は「もくれん」のリフト付きのバンで送迎

してもらいました。この日は「もくれん」の職員さんのお休みが多くあり、職員体制が厳しいうでした。

でも、日を変えることなく決行できてよかったと思いました。ともすれば、事業所の職員体制が優先され、障害者の日中活動が制限される事が多いと知っていたからです。私は、この日ITステーションに置いている、あごなど自分の意志で動かせるところならどこでも使つて入力できる、パソコンを体験することができました。見学が終わった帰りに皆で外食をして「もくれん」に帰ってきました。通所時間の制限があるので慌ただしい外出になるかもしれませんが、このような個人企画が実現できる事業所がどんどん増えていってほしいとおもいました。

今度はこのメンバーで旅行がしたいなあといい話しても楽しい1日でした。

世界史の一行

高校生のころ、世界史の年表を見ながら、当時の人々はどういう気持ちでその毎日を過ごしていたのだろうかと思っていた。世界大戦が始まったとき、終わったとき、多くの人が一度に亡くなったとき、国や政治ががらりと変わったとき、そのただ中にいた人は、何を考え、親しい家族の間でどのような言葉をかわしていたのだろうと想像していた。

それはたいいてい私が生まれるずっと以前のことであったが、私が生を受けてからの短い間にも、世界史の一行になる出来事はあったと思う。たとえば、ベルリンの壁の崩壊や、アメリカで起きた同時多発テロがそうだっただろう。しかし、それはどれも遠い外国で起きたことだった。私の日常もそれによって変わったに違いないが、どこまでも間接的な影響にすぎなかったと思う。

今回の東日本大震災は、そうではない。これは紛れもなく私のすぐそばで起きたことであり、私の日常もこれによって大きく変わってきているし、その変化はまだ始まったばかりだ。

多くの人が亡くなったから世界史に残るだろうというのではない。二〇〇四年のインドネシアのアスマトラ島沖で起きた地震では、二二万人以上の人が亡くなっている。それでも、今回の大震災がより大きな事件として世界史に残ると思うのは、このことによつて日本の文化や社会が変わつていき、それがひいては世界全体を変えることにつながるかもしれないからである。

その一つの理由は、原子力についての人々の見方が劇的に変わってしまったということだ。「原子力発電は安全だ」と何度聞かされても、もうこの国の人々がそれを信じるのは難しいだろう。しかし原子力発電なしに、どうやってこの便利な生活を続けていけるのか。それはもう無理なのである。

便利な生活を諦めようという新しい価値観は、すでにこの国の若者たちの間に広がっていると聞く。「日本の若者は車を買いたがらない」とトヨタかどこかの社長が嘆いていたことを思い

出す。アメリカでは、ずいぶん昔から、厳冬でもTシャツを着ている文化があった。暖房器具を際限なく使っていたのである。日本は豊かになつてからも、そういう文化はもたなかった。質素に生きるという素地は出来ていると思う。

世界中の人々が先進国の物質的に豊かな生活を目指して、がんばっている。けれども、全人類がそんな生活をしたなら地球の環境は破壊されてしまうことだろう。いま豊かな生活をしていると言われている人々から、自ら進んで物質的には水準を落とした生活をしなければいけない。

いったいそんな難しいことができるのだろうかと思うが、少なくとも関東地方ではこの夏までは停電が続くという。震災による経済的ダメージがくるのは、これからだろう。予想もしないなかつた生活がやってくるかもしれない。

ただ亡くなつてしまった何万人もの人々と、その家族のことを考えれば、私たちには耐えられるのではないかと思う。そして、そこから世界に残る新しい文化、文明がこの地に根付いたとすれば、それはほんの少しではあるが、死者に報いることになるのかもしれないのである。

(知)

サロン・あべの毎月の感謝

カンパ、はがき、半紙、お菓子、バザー用品等
ありがとうございました。

カスターネット、近藤千枝子、石田美穂子、
磯山幸枝、田辺サカエ、松森美智子、
森輝代、その他の方、(敬称略)



晴れのち晴れ

稲垣恵雄

■蝶 (ちょう)

4月といえば、気温もぐんぐん上昇して暖かくなり、野山には色とりどりの花が咲き、正に春爛漫の季節である。

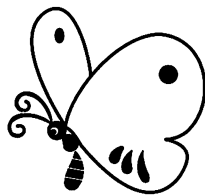
そしてまたこの時期になると、蝶を思い浮かべる。そう言えば蝶は四季を通じて見かけるが、蝶は春の季語になっている。歳時記によると、蝶は種類も多く、なかでも紋白蝶や紋黄蝶は他の蝶と比較してやや小さくて優しい感じがする。春以外の蝶は夏の蝶、秋の蝶、冬の蝶に区別され、その他胡蝶、蝶々、初蝶、揚羽蝶などがある。

どんな蝶でも飛んでいる姿は美しいが、特に紋白蝶が菜の花をはじめ、さまざま花の周りを舞ったり、蜜をすったりする様は

美しく、何とも言えない風情がある。ところで某紙の投稿欄に吉田茉莉子さんという人が「春」というタイトルで、こんな詩を載せておられた。

ちょうちょは蜜を吸うとき
いただきますと 羽をあわせませ

素敵な花だと思ったら
パチパチと拍手をします
青空に映える黄色い羽をヒラ
ヒラさせて
わたしのこころを ふわりと
させませ



この誌の作者は蝶についてよく観察され、メルヘン調にやさしく書かれているので心うたれました。そして作者と同じように、私の心もふんわりと温かいものを感じたのです。

中村かずみ

家族でアメリカ!

ケンタッキー州滞在記

18

ところが実はアメリカでは、抜けた乳歯はとっても大事。お金に替わるんです。……といっても、お店で売れるわけではありません。

枕の下に入れて眠ると、歯の妖精(Door Fairy)がコインと取り替えてくれるのです!!

TVで観たのかお友達に聞いたのか、歯の妖精情報を知ったサキとコウジ。投げちゃって損した!とか、円かなドルかな?日本人のでもいいのかな?とか大騒ぎでした。これは協力しなくちゃ、と親もワクワクしたのはいいのですが、しまった小銭を持っていません。

何しろ支払いはカードか小切手です。

最近では日本のスーパーでもカードOKのところが増えてきましたが、アメリカではもっとどこでも売店でガム1個、駐車料金でもカードで支払えました。また小切手が大金の支払いでなく日常に大活躍で、学校の給食費や遠足代として子供に持たせられます(落としても、宛名人しか換金出来ない点で安心です。ただし4ドル= four dollarsとアラビア数字でなく英語で書き下すのが間違えそうで面倒)そんなわけで、今は小銭でパンパンの財布も、アメリカ滞在中はべったんこでした。

子供たちにしたって、近所に子供だけでいけ

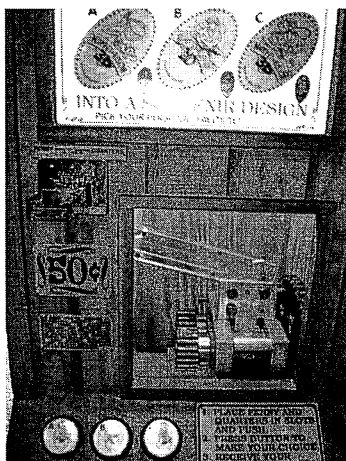
る駄菓子屋も無く、(そもそも小中学生が保護者無しでいたら通報されます)小銭をもらつても使い道はなかった筈ですが、やつぱりもらえるものはもらつておかないと?

コインの用意はそのうち出来ましたが、3人が一緒に眠るぎゅうぎゅうの子供部屋に忍び込んで起こしてしまつたり、どの枕の下に歯があるのやらみつからなかつたり。

翌日の喜ぶ顔を楽しみに、親の妖精修行もなかなか大変でした!

他にアメリカの子供なら誰でも知っている、でも日本で馴染みのない妖精と言えばレプラインがいます。アイルランドの民話由来で、虹のたもとに金貨を隠しているのだとか。3月17

4月、アメリカ滞在中には小3だった下の娘も中学生になり、時が経つ速さには驚かされます。当時小3小5中1だった子供たちは3人ともまさに伸び盛り、たった7ヶ月の滞在の間に5~7cm身長が伸び、それぞれ2回靴を買って換え、毎月誰かの歯が抜けていましたっけ。乳歯が抜けたらどうします? 日本でなら、「ネズミの歯になあれ♪」と唱えながら上の歯は縁の下に、下の歯は屋根に向かって放るもの。アメリカでも、とりあえずアパートの2階の窓から投げていました。

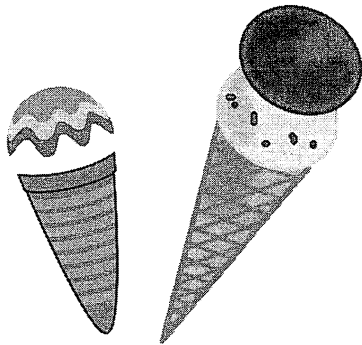


入れた50セントを潰し刻印、記念品にする機械! 米国では合法ですがドキドキ



サーティーワンアイス美味しい☆
(窓にカード支払いOKマークが)

日の聖パトリック(アイルランドの聖人)祭の日には、大人も子供も緑の服を着て過ごしレプラコーンの絵を飾るんだそうで、カズキが学校でした塗り絵を持って帰りました。
それを見て納得しているコウジ。大好きな「ハリー・ポッター」で、いきなり出てきて金貨をばらまく存在の意味がやっと分かったのだそうでした。
次回はその、子供に大人気「ハリー・ポッター」と学校生活の話を書こうと思います。



校門前の屋台ミスターアイスクリームマン。
さすがにここは現金でした



原題はTooth Fairy「歯の妖精」
かっこよく変えられていますね

〈歯の妖精な映画紹介〉

「妖精ファイトー」(2009年102分)
「妖精なんかいない」と子供を哀しませた乱暴者が、罰として「歯の妖精」にされちゃった!
いかつい男が魔法で小さくなって羽が生え、妖精の女装?に困る様子は、コメディですが、だんだんと優しい気持ちに気付くいいお話です♪



5 月はどこのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いしませんか。

日 時：未定
内 容：未定
ゲスト：未定
場 所：NPO 法人自由空間クラブ
 大阪市東淀川区淡路 2 丁目
会 費：なし
連絡先：鈴木昭二 ☎ 06-6340-3082

■ 「サロンいたみ」5 月の会いはお休みです。

■ 「サロン淀川」5 月の出会い

日 時：5 月 15 日（日）午後 1 時 30 分～4 時
内 容：「認知症を正しく理解するには」
 ～認知症を正しく理解し、認知症の人や家族等
 に対して温かい目で見守る応援者、サポート養
 成講座を受講し認知症サポーターになろう～
講 師：淀川区社会福祉協議会・地域生活支援サポーター
場 所：「やすらぎ」大阪市淀川区三国本町 2-14-3
会 費：なし
問合せ先：淀川区社会福祉協議会（ボランティア・ビュー
 ロー）
 ☎ 06-6394-2900

■ 「サロンにしよど」5 月の出会い

日 時：5 月 28 日（土）
内 容：未定
会 費：未定
問合せ先：中本 ☎ 090-9864-9678

■ 「サロンにし」5 月の出会い

日 時：5 月 14 日（土）午後 2 時～4 時
内 容：車イス介助を体験してみよう！！
講 師：宮脇 淳氏
場 所：西区在宅サービスセンター「ながほり」
 大阪市西区新町 4-5-14、TEL 06-653
 9-8075
会 費：なし
問合せ先：宮脇淳 ☎ 090-3949-6973

■ 「ウイズ東淀川」5 月の出会い

お 知 ら せ

<サロン・あべの> 5 月の出会い

- 内 容：長居植物園散策～アジサイの谷など～
- 日 時：5 月 21 日（土）午後 1 時（集合）
 ～4 時（解散）
- 場 所：長居植物園（集合場所＝入り口）
 [大阪市東住吉区長居公園 1-23、
 TEL 06-6696-7117]
- 会 費：なし、費用は各自負担でお願いします。
 （65 歳以上の方、障害をお持ちの方
 はその証明書をご持参ください）
- 問合せ先と申し込み先：
 TEL 06-6691-1028
 （富田慶子）

<サロン・あべの> Vol. 298 発行：平成 23 年（2011 年）4 月 16 日 定価 ¥100
編集人：<サロン・あべの> 運営委員会 表題：中西利香・筆
事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町 6-3-26 富田慶子方 <サロン・あべの>
TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941
印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町 4-23-2 ミスター D ビル 2F 06-6719-8212
ホームページ：http://pweb.sophis.ac.jp/oka/salon/ 「サロン・あべの」でも検索できます

一九九一年九月三日第三種郵便物認可（毎日発行）